

## 面談！「長期研修の実施状況」—その 4

北海道漁業就業支援協議会

令和 3 年 10 月 26 日

令和 3 年度の第 4 回目の面談は、初山別村の北るもい漁協(初山別支所)を訪れました。

独立型研修の 1 年目と 2 年目の研修生からお話しを聞くことが出来ました。面談には、留萌振興局水産課と留萌地区水産技術普及指導所に参加していただきました。



### 4 回目面談実施:R3 年 10 月 22 日(初山別村)

項目 地区	研修生 出身地 年齢	研修 種類	漁業種類	期 間	備 考
北るもい漁協	島 <sup>よしろう</sup> 寛郎 北海道 44 歳	独立 1 年目	たこ函、ひらめ曳、 なまこ桁	R.3.05/01~ R6.04/30	知人紹介
初山別支所	齊藤 浩之 千葉県 32 歳	独立 2 年目	たこ函、ひらめ曳、 なまこ桁	R.2.05/01~ R5.04/30	自己開拓

北海道(岩見沢市)出身ですが、研修前は山口県で陶器職人(個人経営)をしていました。

コロナで仕事が不振の頃に、初山別村の知人(釣り友)から齊藤研修生の事例を含め漁業就業の紹介があり、北海道に戻るきっかけとなった。

元々、海、釣りが好きだったので、初山別での漁業就業を目指すことを決意し研修を開始した。



【島 研修生】



【齊藤研修生】

初山別での 3 力年の協力隊員の後、地元からの応援もあり、一次産業に就きたくて漁業就業を目指すこととした。

研修 2 年目となったが、考え方には大きな変化はなく、若者が理解しやすい漁業を目指したい。

地元の知り合いが増え、より一層、地域になじんできたように感じている。

## 面談！ 「長期研修の実施状況」—その 4

北海道漁業就業支援協議会

令和 3 年 10 月 26 日

令和 3 年度の第 4 回目の面談は、初山別村の北るもい漁協(初山別支所)を訪れました。

独立型研修の 1 年目と 2 年目の研修生からお話しを聞くことが出来ました。面談には、留萌振興局水産課と留萌地区水産技術普及指導所に参加していただきました。



### 4 回目面談実施:R3 年 10 月 22 日(初山別村)

項目 地区	研修生 出身地 年齢	研修 種類	漁業種類	期 間	備 考
北るもい漁協 初山別支所	島 <sup>よしろう</sup> 寛郎 北海道 44 歳	独立 1 年目	たこ函、ひらめ曳、 なまこ桁	R.3.05/01~ R6.04/30	知人紹介
	齊藤 浩之 千葉県 32 歳	独立 2 年目	たこ函、ひらめ曳、 なまこ桁	R.2.05/01~ R5.04/30	自己開拓

北海道(岩見沢市)出身ですが、研修前は山口県で陶器職人(個人経営)をしていました。

コロナで仕事が不振の頃に、初山別村の知人(釣り友)から齊藤研修生の事例を含め漁業就業の紹介があり、北海道に戻るきっかけとなった。

元々、海、釣りが好きだったので、初山別での漁業就業を目指すことを決意し研修を開始した。



【島 研修生】



【齊藤研修生】

初山別での 3 力年の協力隊員の後、地元からの応援もあり、一次産業に就きたくて漁業就業を目指すこととした。

研修 2 年目となったが、考え方には大きな変化はなく、若者が理解しやすい漁業を目指したい。

地元の知り合いが増え、より一層、地域になじんできたように感じている。

## 面談！ 「長期研修の実施状況」—その 4

北海道漁業就業支援協議会

令和 3 年 10 月 26 日

令和 3 年度の第 4 回目の面談は、初山別村の北るもい漁協(初山別支所)を訪れました。

独立型研修の 1 年目と 2 年目の研修生からお話を聞くことが出来ました。面談には、留萌振興局水産課と留萌地区水産技術普及指導所に参加していただきました。



### 4 回目面談実施:R3 年 10 月 22 日(初山別村)

項目 地区	研修生 出身地 年齢	研修 種類	漁業種類	期 間	備 考
北るもい漁協	島 <sup>よしろう</sup> 寛郎 北海道 44 歳	独立 1 年目	たこ函、ひらめ曳、 なまこ桁	R.3.05/01~ R6.04/30	知人紹介
初山別支所	齊藤 浩之 千葉県 32 歳	独立 2 年目	たこ函、ひらめ曳、 なまこ桁	R.2.05/01~ R5.04/30	自己開拓

北海道(岩見沢市)出身ですが、研修前は山口県で陶器職人(個人経営)をしていました。

コロナで仕事が不振の頃に、初山別村の知人(釣り友)から齊藤研修生の事例を含め漁業就業の紹介があり、北海道に戻るきっかけとなった。

元々、海、釣りが好きだったので、初山別での漁業就業を目指すことを決意し研修を開始した。



【島 研修生】



【齊藤研修生】

初山別での 3 力年の協力隊員の後、地元からの応援もあり、一次産業に就きたくて漁業就業を目指すこととした。

研修 2 年目となったが、考え方には大きな変化はなく、若者が理解しやすい漁業を目指したい。

地元の知り合いが増え、より一層、地域になじんできたように感じている。